


## 平成 28 年度 研究サマリー

研究会名称	糖尿病性腎症治療懇話会が実施する「糖尿病血液透析患者の予後に対するグリコアルブミン値の影響の検討」	
代表者所属	東京女子医科大学 糖尿病センター	
代表者氏名	馬場園 哲也	
研究方法・結果	<p>平成 24 年 12 月より本試験への参加願いを各施設に対し開始した。平成 25 年 4 月より本試験を順次開始し、試験への登録から半年ごとに血液検査（血糖値、HbA1c、グリコアルブミン（GA））と転帰（死因を含めた死亡、転院、移植、入院期間、入院目的）の調査を行っている。平成 28 年の第 61 回日本透析医学会学術集会・総会において本試験の中間解析も実施、報告している。</p> <p>&lt;中間解析結果&gt;</p> <p>糖尿病血液透析患者 780 名において平均 1.8 年（0.02～2.6 年）の観察をしたところ、79 名が死亡した。多変量 Cox 比例ハザード分析において、観察期間における平均 GA 値のハザード比は 1.01 (p=0.754) であり、死亡に対する有意なリスク因子ではなかった。</p> <p>さらに詳しい結果は前述の通り、中間報告として第 61 回日本透析医学会学術集会・総会（平成 28 年 6 月 10 日～12 日、大阪）において発表した。</p> <p>平成 29 年 3 月時点で、647 名において本試験を引き続き継続している。</p>	
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会（中間報告）</li> </ul>	